Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-218158 (P2001-218158A)

(43)公開日 平成13年8月10日(2001.8.10)

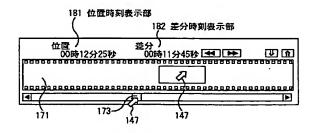
(51) Int.Cl.'		識別記号	FΙ	テーマコード(参考)		考)		
H 0 4 N	5/91		G06F	G 0 6 F 3/00		651A		
G06F	3/00	6 5 1	G11B 2	G11B 27/00 E		3		
G11B	27/00		2	27/34		Z		
	27/34		H04N	H 0 4 N 5/91		Z		
			審査請求	未請求	請求項の数4	OL (全 1	19 頁)	
(21)出願番号		特顧2000-27892(P2000-27892)	(71)出顧人					
				ソニーを				
(22)出願日		平成12年2月4日(2000.2.4)			品川区北品川6丁目7番35号			
			(72)発明者					
					品川区北品川67	「目7番35号	ソニ	
				一株式会	社内			
		•	(72)発明者	山口信	199			
				東京都品	品川区北品川67	「目7番35号	ソニ	
				一株式会	会社内			
			(74)代理人	1000821	31			
				弁理士	稲本 義雄			

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びにプログラム格納媒体

(57)【要約】

【課題】 所望の画像を簡便に、かつ、素早く探し出せるようにする。

【解決手段】 位置時刻表示部181に表示される時刻は、静止画像表示ウィンドウ171に表示されるサムネイル画像が、そのサムネイル画像のデータを含む番組の開始時刻から、どれだけの時間が経過したときの画像であるかを示す時刻であり、差分時刻表示部182に表示される時刻は、その時点で再生されている画像との相対的な時刻を示す。



【特許請求の範囲】

2

【請求項1】 動画像の記録を制御する第1の記録制御

前記動画像のシーンの切り換えに対応する静止画像と、 その時刻の記録を制御する第2の記録制御手段と、

前記第1の記録制御手段により記録された前記動画像の 再生を制御する第1の再生制御手段と、

前記第2の記録制御手段により記録された前記静止画像 の再生を制御する第2の再生制御手段と、

前記第1の再生制御手段により再生が制御されている前 10 記動画像と前記第2の再生制御手段により再生が制御さ れている前記静止画像との関係を示す時刻の表示を制御 する表示制御手段とを含むことを特徴とする情報処理装 置。

【請求項2】 前記表示制御手段により表示が制御され る時刻は、前記第2の記録制御手段により記録された時 刻、前記第1の記録制御手段により前記動画像の記録が 開始された時刻と前記第2の再生制御手段により再生が 制御されている前記静止画像が記録された時刻との差分 を示す時刻、または、前記第1の再生制御手段により再 20 生が制御されている前記動画像の示す時刻と前記第2の 再生制御手段により再生が制御されている前記静止画像 が示す時刻との差分を示す時刻のうちの、少なくとも1 つであることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装

【請求項3】 動画像の記録を制御する第1の記録制御 ステップと、

前記動画像のシーンの切り換えに対応する静止画像と、 その時刻の記録を制御する第2の記録制御ステップと、 前記第1の記録制御ステップの処理で記録された前記動 30 画像の再生を制御する第1の再生制御ステップと、 前記第2の記録制御ステップの処理で記録された前記静 止画像の再生を制御する第2の再生制御ステップと、 前記第1の再生制御ステップの処理で再生が制御されて いる前記動画像と前記第2の再生制御ステップの処理で 再生が制御されている前記静止画像との関係を示す時刻 の表示を制御する表示制御ステップとを含むことを特徴 とする情報処理方法。

【請求項4】 動画像の記録を制御する第1の記録制御 ステップと、

前記動画像のシーンの切り換えに対応する静止画像と、 その時刻の記録を制御する第2の記録制御ステップと、 前記第1の記録制御ステップの処理で記録された前記動 画像の再生を制御する第1の再生制御ステップと、 前記第2の記録制御ステップの処理で記録された前記静 止画像の再生を制御する第2の再生制御ステップと、 前記第1の再生制御ステップの処理で再生が制御されて いる前記動画像と前記第2の再生制御ステップの処理で 再生が制御されている前記静止画像との関係を示す時刻 の表示を制御する表示制御ステップとことを特徴とする 50 いる静止画像が示す時刻との差分を示す時刻のうちの、

コンピュータが読み取り可能なプログラムが格納されて いるプログラム格納媒体。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は情報処理装置および 方法、並びにプログラム格納媒体に関し、特に、参照用 の画像の時刻情報を提示する情報処理装置および方法、 並びにプログラム格納媒体に関する。

[0002]

【従来の技術】パーソナルコンピュータに、チューナを 内蔵し、テレビジョン放送局から画像および音声の信号 を受信し、受信した画像および音声を所定のデジタルデ ータに変換して、ハードディスクなどの記録媒体に記録 し、必要に応じて再生する技術が利用されるようになり つつある。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】上述したパーソナルコ ンピュータによりテレビジョン放送局からの放送された 番組を記録し、再生する場合、従来のビデオテープなど を用いた時の再生と異なり、巻き戻し、先送りに係る時 間が必要なく、所望のシーンをすぐに視聴できるという 特徴がある。しかしながら、所望のシーンを探すための 情報、例えば、時刻に関する情報などが提示されていな いために、所望のシーンを探しづらいといった課題があ

【0004】本発明はこのような状況に鑑みてなされた ものであり、再生されているシーンに対応する絶対時 刻、差分時刻などの情報を提示することにより、ユーザ が所望のシーンを探しやすいようにすることを目的とす

[0005]

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の情報処 理装置は、動画像の記録を制御する第1の記録制御手段 と、動画像のシーンの切り換えに対応する静止画像と、 その時刻の記録を制御する第2の記録制御手段と、第1 の記録制御手段により記録された動画像の再生を制御す る第1の再生制御手段と、第2の記録制御手段により記 録された静止画像の再生を制御する第2の再生制御手段 と、第1の再生制御手段により再生が制御されている動 画像と第2の再生制御手段により再生が制御されている 静止画像との関係を示す時刻の表示を制御する表示制御 手段とを含むことを特徴とする。

【0006】前記表示制御手段により表示が制御される 時刻は、第2の記録制御手段により記録された時刻、第 1の記録制御手段により動画像の記録が開始された時刻 と第2の再生制御手段により再生が制御されている静止 画像が記録された時刻との差分を示す時刻、または、第 1の再生制御手段により再生が制御されている動画像の 示す時刻と第2の再生制御手段により再生が制御されて

少なくとも1つであるようにすることができる。

【0007】請求項3に記載の情報処理方法は、動画像 の記録を制御する第1の記録制御ステップと、動画像の シーンの切り換えに対応する静止画像と、その時刻の記 録を制御する第2の記録制御ステップと、第1の記録制 御ステップの処理で記録された動画像の再生を制御する 第1の再生制御ステップと、第2の記録制御ステップの 処理で記録された静止画像の再生を制御する第2の再生 制御ステップと、第1の再生制御ステップの処理で再生 が制御されている動画像と第2の再生制御ステップの処 10 理で再生が制御されている静止画像との関係を示す時刻 の表示を制御する表示制御ステップとを含むことを特徴 とする。

【0008】請求項4に記載のプログラム格納媒体のプ ログラムは、動画像の記録を制御する第1の記録制御ス テップと、動画像のシーンの切り換えに対応する静止画 像と、その時刻の記録を制御する第2の記録制御ステッ プと、第1の記録制御ステップの処理で記録された動画 像の再生を制御する第1の再生制御ステップと、第2の 記録制御ステップの処理で記録された静止画像の再生を 20 制御する第2の再生制御ステップと、第1の再生制御ス テップの処理で再生が制御されている動画像と第2の再 生制御ステップの処理で再生が制御されている静止画像 との関係を示す時刻の表示を制御する表示制御ステップ とことを特徴とする。

【0009】請求項1に記載の情報処理装置、請求項3 に記載の情報処理方法、および請求項4に記載のプログ ラム格納媒体においては、動画像と、その動画像のシー ンの切り換えに対応する静止画像とが記録され、動画像 と静止画像との関係を示す時刻が表示される。

[0010]

【発明の実施の形態】図1は、本発明に係る画像記録再 生システムの一実施の形態を示す図である。パーソナル コンピュータ11は、所定のテレビジョン放送局から送 信された電波を受信したアンテナ12から供給される信 号を入力し、所定の画像および音声(いわゆる、番組の 画像および音声)を再生し、その画像および音声を記録 する。また、パーソナルコンピュータ 1 1 は、VCR(Vide o Cassette Recorder) 13から供給されたアナログ信 号、またはIEEE (Institute of Electrical and Electr 40 onic Engineers) 1394などのネットワーク16-1およ び16-2を介してDVCR(Digital Video Cassette Reco rder) 14または撮像機能付きのDVCR15から供給され たデジタルデータに対応する画像および音声を再生し、 その画像および音声を記録する。

【0011】パーソナルコンピュータ11は、記録して いる音声および画像に対応するアナログ信号(例えば、 NTSC(National Television System Committee)方式のア ナログ信号など)をVCR13に供給し、または、記録 している音声および画像に対応するデジタルデータをDV 50 またはHDD31-2に記録されている画像または音声の

CR14に供給する。また、パーソナルコンピュータ11 は、記録している音声および画像を編集することができ

【0012】図2は、パーソナルコンピュータ11の構 成を説明するブロック図である。CPU(Central Process ing Unit) 21は、各種アプリケーションプログラム や、基本的なOS (Operating System) を実際に実行す る。ROM (Read-Only Memory) 22は、一般的には、CPU 21が使用するプログラムや演算用のパラメータのうち の基本的に固定のデータを格納する。RAM(Random-Acce ss Memory) 23は、CPU21の実行において使用するブ ログラムや、その実行において適宜変化するパラメータ を格納する。これらはCPUバスまたはメモリバスなどか ら構成されるホストバス24により相互に接続されてい

【0013】ホストバス24は、ブリッジ25を介し T. PCI(Periphera) Component Interconnect/Interfac e)バスなどの外部バス26に接続されている。キーボー ド28は、CPU21に各種の指令を入力するとき、ユー ザにより操作される。マウス29は、CRT (Cathode Ray Tube) 30の画面上のポイントの指示や選択を行うと き、ユーザにより操作される。CRT30は、各種情報を テキストやイメージで表示する。HDD (Hard Disk Driv e) 31-1および31-2は、それぞれハードディス クを駆動し、それらにCPU2 1によって実行するプログ ラムや情報を記録または再生させる。

【0014】また、HDD31-1および31-2は、C の記録および再生の処理を時分割処理することにより、 同時に実行することができる。 スピーカ32は、所定の 音声を再生する。これらのキーボード28万至スピーカ 32は、インターフェース27に接続されており、イン ターフェース27は、外部バス26、ブリッジ25、お よびホストバス24を介してCPU21に接続されてい る。以下、HDD3 1-1または31-2を個々に区別す る必要がないとき、単に、HDD31と称する。

【0015】ドライブ33は、インターフェース27に 接続され、磁気ディスク111、光ディスク112、光 磁気ディスク113、または半導体メモリ114の、CP U2 1 によって実行するプログラムや情報を記録または 再生させる。画像処理ボード34は、CPU21の制御の 基に、アンテナ12から供給された信号、VCR13から 供給される画像または音声のアナログ信号、または、ネ ットワーク16-1を介して、DVCR13またはDVCR14 から供給される画像または音声のデジタルデータを基 に、所定の画像または音声のデータを生成し、外部バス 26 およびインターフェース27を介して、HDD31-1またはHDD31-2に出力する。

【0016】また、画像処理ボード34は、外部バス2 6 およびインターフェース27を介して、HDD31-1

データを入力し、入力された画像または音声のデータに対応するアナログ信号を生成して、VCR13に供給し、若しくは、入力された画像または音声のデータに対応するデジタルデータを生成して、ネットワーク16-1を介して、DVCR14、または、外部バス26を介してCRT30に供給する。さらに、画像処理ボード34は、Cれらの処理を同時に実行することもできる。画像処理ボード34は、外部バス26、ブリッジ25、およびホスト

バス24を介してCPU21に接続されている。

【0017】次に、画像処理ボード34の構成について 10 説明する。図3は、画像処理ボード34の構成を示す図 である。1394インターフェース5 1 は、IEEE1394の規定 に対応する構成を有し、ネットワーク16-1に接続さ れ、IEEE1394の規定に対応するプロトコルに基づき、DV CR14またはDVCR15から供給される画像または音声の DVCRフォーマットのデジタルデータを受信し、DV (Dig ital Video)データインターフェース52に供給する。 【0018】また、1394インターフェース51は、DV データインターフェース52から供給された画像または 音声のDVCRフォーマットのデジタルデータを、IEEE1394 20 の規定に対応するプロトコルに基づき、DVCR14に供給 する。DVデータインターフェース52は、1394インタ ーフェース51から供給されたDVCRフォーマットの画像 または音声のデジタルデータ、またはデジタルセレクタ 57から供給された画像または音声のデジタルデータ (例えば、いわゆる、4:1:1などの圧縮されていな いデジタルデータなど)をDVデータ圧縮伸張回路53 に出力し、DVデータ圧縮伸張回路53から供給された DVCRフォーマットの画像または音声のデジタルデータを 1394インターフェース51 に出力し、DV データ圧縮伸 30 張回路53から供給されたデジタルセレクタ57から供 給された画像または音声のデジタルデータ(圧縮されて いない)をデジタルセレクタ57に出力する。

【0019】DVデータ圧縮伸張回路53は、DVデータインターフェース52から供給されたDVCRフォーマットの画像または音声のデジタルデータを、圧縮されていない画像または音声のデジタルデータに伸張して、DVデータインターフェース52に出力し、または、DVデータインターフェース52から供給された圧縮されていない画像または音声のデジタルデータを、DVCRフォーマ 40ットの画像または音声のデジタルデータに圧縮し、DVデータインターフェース52に出力する。

【0020】チューナ54は、アンテナ12から供給されたRF (Radio Frequency)信号を入力し、所定のチャンネルの画像および音声のアナログ信号をアナログセレクタ52に出力する。アナログセレクタ55は、チューナ54、VCR13、またはD/A (Digital/Analoq)変換回路61から供給された画像または音声のアナログ信号のいずれかを選択し、A/D (Analog/Digital)変換回路56またはVCR13に出力する。

【0021】A/D変換回路56は、アナログセレクタ55から供給された画像および音声のアナログ信号を、デジタルデータ(例えば、いわゆる、4:1:1などの画像データなど)に変換し、デジタルセレクタ57に出力する。デジタルセレクタ57は、DVデータインターフェース52、A/D変換回路56、またはMPEG(Moving Picture Experts Group)デコーダ60から出力された画像および音声のデジタルデータを選択し、DVデータインターフェース52、MPEGエンコーダ58、ブリッジ59、またはD/A変換回路61に出力し、さらに、ブリッジ59には、シーンの切り換えの位置の情報を出力する。

【0022】MPECエンコーダ58は、デジタルセレクタ57から供給された画像および音声のデジタルデータを、MPEC方式のデジタルデータに圧縮し、ブリッジ59に出力する。また、MPECエンコーダ58は、シーンの切り替わりの画像を、静止画像に変換し、ブリッジ59に出力する。ブリッジ59は、デジタルセレクタ57から供給された画像および音声のデジタルデータ(圧縮されてない)を、画像処理ボード34が装着されているパーソナルコンピュータ11のPCIバス26およびインターフェース27を介して、CRT30に出力する。

【0023】ブリッジ59は、MPEGエンコーダ58から供給されたMPEG方式の画像または音声のデジタルデータを、画像処理ボード34が装着されているパーソナルコンピュータ11のPCIバス26を介して、HDD31-1若しくは31-2、またはCPU21に出力する。更に、ブリッジ59は、PCIバス26を介して、パーソナルコンピュータ11のHDD31-1または31-2から、MPEG方式の画像または音声のデジタルデータを受信し、MPEGデコーダ60に出力する。尚、ブリッジ59は、これらの処理を同時に実行することもできる。

【0024】MPECデコーダ60は、ブリッジ59から供給されたMPEG方式の画像または音声のデジタルデータを伸張して、圧縮されていない画像または音声のデジタルデータとし、デジタルセレクタ57に出力する。D/A変換回路61は、デジタルセレクタ57から供給された画像および音声のデジタルデータを、アナログ信号に変換し、アナログセレクタ52に出力する。なお、MPEGエンコーダ58またはMPEGデコーダ60に対応する処理は、所定のプログラムにより、CPU21が実行するようにしてもよい。

【0025】図4は、パーソナルコンピュータ11が実行するアプリケーションプログラムを説明する図である。録画再生プログラム81は、画像処理ボード34に、チューナ54で受信した所定のチャンネルの画像および音声のアナログ信号、VCR13から供給された画像および音声のアナログ信号、またはネットワーク1650-1を介して、DMCR14から供給された画像および音声

のデジタルデータのいずれかを選択させ、選択されたア ナログ信号またはデジタルデータをMPEG方式の画像また は音声のデジタルデータに変換させ、1以上の所定の形 式のファィルから構成されるAV (Audio Visual)コンテ ンツとして、HDD31-1若しくは31-2、またはHDD 31-1および31-2に記録させる。

【0026】また、録画再生プログラム81は、1以上 の所定の形式のファイルとしてHDD3 1-1若しくは3 1-2、またはHDD31-1および31-2に記録され させて、圧縮されていない所定の画像または音声のデジ タルデータを生成し、画像をCRT30に表示させ、音声 をスピーカ32に再生させる。

【0027】AVコンテンツ管理検索プログラム82 は、HDD31-1若しくは31-2、またはHDD31-1 および31-2に記録されているAVコンテンツの内容 または録画された日付などの所定の情報を表示する。ま た、AVコンテンツ管理検索プログラム82は、所定の AVコンテンツの再生を録画再生プログラム81に指示 し、編集の対象となるAVコンテンツを選択し、その選 20 タを記憶しているファイルを特定するデータを提供する 択されたAVコンテンツの情報をAVコンテンツ編集プ ログラム83に供給し、予約録画設定プログラム84に 予約録画の指示を行う。

【0028】AVコンテンツ編集プログラム83は、HD D3 1-1若しくは3 1-2、またはHDD3 1-1および 31-2に記録されているAVコンテンツを基に、選択 されたAVコンテンツの所定の画像および音声を編集 (所定AVコンテンツに含まれている画像および音声を つなぎ合わせる)し、編集された画像または音声を再生 する所定の形式のAVコンテンツを生成する。このAV コンテンツは、画像または音声のデジタルデータを有せ ず、選択されたAVコンテンツを特定する情報および利 用する画像および音声を特定する情報から構成され、録 画再生プログラム81で再生することができる。

【0029】予約録画設定プログラム84は、設定に基 づき、予約録画を実行させるAVコンテンツを生成す る。このAVコンテンツは、設定(録画時間、および画 質を決定する録画モード)に対応し、HDD3 1-1若し くは31-2、またはHDD31-1および31-2の記 憶領域を予め確保する。予約監視プログラム85は、バ 40 ーソナルコンピュータ11が動作しているとき(OSが 動作しているとき)、常に動作し(いわゆる、常駐して いる)、予約録画設定プログラム84が生成した予約録 画を実行させるAVコンテンツ、および、図示せぬRTC (Real Time Clock)から供給される時刻を基に、予約録 画を実行する。また、予約監視プログラム85は、予約 録画を実行させるAVコンテンツの設定を変更する。

【0030】図5は、パーソナルコンピュータ11が実 行するアプリケーションプログラム、ミドルウェア、お よびドライバ類の構成を説明する図である。ミドルウェ 50 コード95、出力切り換え96、入力切り換え97、お

アは、アプリケーションプログラムからの要求に対応 し、所定のドライバ類を動作させる。ドライバ類は、画 像処理ボード34のMPECエンコーダ58など、所定のハ ードウェアのリソースを、実際に動作させる。

【0031】ハードウェアインターフェース91は、録 画再生プログラム81、AVコンテンツ管理検索プログ ラム82、AVコンテンツ編集プログラム83、予約録 画設定プログラム84、または予約監視プログラム85 が要求する、ハードウェアリソースの使用を調停し、各 ているAVコンテンツを、画像処理ボード34に、伸張 10 種の優先順位などの設定に基づき、アプリケーションプ ログラムが所定のハードウェアリソースを適切に利用で きるようにする。

> 【0032】 コンテンツデータベース92は、AVコン テンツの後述する属性のデータなどを管理し、録画再生 プログラム81、AVコンテンツ管理検索プログラム8 2、AVコンテンツ編集プログラム83、予約録画設定 プログラム84、または予約監視プログラム85に対 し、AVコンテンツの後述する属性のデータ、またはA Vコンテンツに対応する画像または音声のデジタルデー データベースである。

【0033】ファイルI/O(Input/Output)93は、コ ンテンツデータベース92を介して、録画再生プログラ ム81、AVコンテンツ管理検索プログラム82、AV コンテンツ編集プログラム83、予約録画設定プログラ ム84、または予約監視プログラム85の所定のAVコ ンテンツ(1以上のファイルから構成される)に対する 読み出し、または書き込みの要求に対応し、実際に、所 定のファイルに対しデータの読み出し、または書き込み 30 を実行する。

【0034】エンコード94は、画像処理ボード34の MPECエンコーダ58に、デジタルセレクタ57から入力 された画像または音声のデータを、MPEG方式のデジタル データに圧縮させる制御を実行する。デコード95は、 画像処理ボード34のMPEGデコーダ60に、ブリッジ5 9から入力されたMPEC方式の画像または音声のデジタル データを、伸張させる制御を実行する。

【0035】出力切り換え96は、画像処理ボード34 のアナログセレクタ52、および1394インターフェース 51を動作させ、画像処理ボード34からのアナログ信 号またはネットワーク16-1を介するデジタルデータ の出力を制御する。入力切り換え97は、画像処理ボー ド34のアナログセレクタ52、1394インターフェース 51、DVデータインターフェース52、およびデジタ ルセレクタ57を動作させ、画像処理ボード34に入力 されるアナログ信号またはデジタルデータを選択する。 【0036】画面表示98は、デジタルセレクタ57お よびブリッジ59などを動作させ、CRT30への画像の 表示を制御する。ドライバ99は、エンコード94、デ よび画面表示98の要求に対応し、画像処理ボード34 を実際に動作させるプログラムである。以下において、 音声に関する処理については説明を省略する。

【0037】図6は、AVコンテンツの構成の例を説明 する図である。HDD3 1-1または31-2に記録され ているコンテンツデータベース92には、各AVコンテ ンツの属性が記録されている。コンテンツデータベース 92 に記録されているAVコンテンツ属性レコード10 2-1は、AVコンテンツ101-1の属性である、名 前、ID(Identification data)、作成日時、変更日 時、録画時間、チャンネル名、録画モード、状態、有効 期限(日付および時刻から示される)、誤削除防止の設 定、エラーの有り無し、2次元パーコード(例えば、サ イバーコード(商標))、およびメモなどのデータを格 納している。コンテンツデータベース92に記録されて いるAVコンテンツ属性レコード102-2は、AVコ ンテンツ101-2の属性である、名前、10、作成日 時、変更日時、録画時間、チャンネル名、録画モード、 状態、有効期限、誤削除防止の設定、エラーの有り無 し、およびメモなどのデータを格納している。

【0038】AVコンテンツ属性レコード102-1に格納されている録画モードのデータは、動画像データファイル111-1-1乃至111-1-3が高画質、標準、またはビデオCD互換(画像のデータがMPEG1方式であること示す)のいずれかであることを示す。同様に、AVコンテンツ属性レコード102-1に格納されている状態のデータは、AVコンテンツ101-1が予約待ち、録画中、録画・再生中(録画し、録画している画像のデータを再生している)、未再生、再生中、または再生済の、いずれかの状態であることを示す。

【0039】エラーは、例えば、録画中にパーソナルコンピュータ11が故障し、途中までしか録画されなかった、録画中の受信状態が悪く、アンテナ12からの入力された信号で画像が再生できなかった、または、動画像データファイル111-1-1の一部が欠落している等のAVコンテンツ101-1の状態を示す。有効期限および誤削除防止の設定は、どちらも設定されない、または、そのいずれかが設定され、有効期限および誤削除防止の双方が同時に設定されることとはない。

【0040】AVコンテンツ属性レコード102-2に 40 格納されている録画モードのデータは、動画像データファイル111-2-1乃至111-2-3が高画質、標準、またはビデオCD互換のいずれかであることを示す。同様に、AVコンテンツ属性レコード102-2に格納されている状態のデータは、AVコンテンツ101-2が予約待ち、録画中、録画・再生中、未再生、再生中、または再生済の、いずれかの状態であることを示す。

ル111-1-1乃至111-1-3、およびHDO31-1または31-2に記録されている静止画像データファイル112-1-1乃至112-1-3から構成される。動画像データファイル111-1-1乃至111-1-3は、MPEC方式の画像データが格納されている。動画像データファイル111-1-2の先頭に格納されている画像データに対応する画像は、動画像データファイル111-1-1の最後に格納されている画像データに対応する画像に連続している。同様に、動画像データに対応する画像に連続している。同様に、動画像データファイル111-1-3の先頭に格納されている画像データに対応する画像は、動画像データファイル111-1-2の最後に格納されている画像データに対応する画像に連続している。

【0042】静止画像データファイル112-1-1 は、動画像データファイル111-1-1に格納されて いる画像データのシーンの切り替わりの画像を、静止画 像に変換した画像データ、および、そのシーンの切り替 わりの時刻(または、動画像データファイル111-1 -1上のオフセット位置)のデータが格納されている。 20 静止画像データファイル112-1-2は、動画像デー タファイル111-1-2に格納されている画像データ のシーンの切り替わりの画像を、静止画像に変換した画 像データ、および、そのシーンの切り替わりの時刻(ま たは、動画像データファイル111-1-2上のオフセ ット位置)のデータが格納されている。静止画像データ ファイル112-1-3は、動画像データファイル11 1-1-3に格納されている画像データのシーンの切り 替わりの画像を、静止画像に変換した画像データ、およ び、そのシーンの切り替わりの時刻(または、動画像デ 30 ータファイル 1 1 1 - 1 - 3 上のオフセット位置) のデ ータが格納されている。

【0043】AVコンテンツ101-2は、動画像データファイル111-2-1および111-2-2、および静止画像データファイル112-2-1および112-2-1および112-2-2から構成され、AVコンテンツ101-1の場合と同様なので、その説明は省略する。

【0044】以下、AVコンテンツ101-1またはAVコンテンツ101-2を個別に区別する必要がないとき、単にAVコンテンツ101と称する。以下、AVコンテンツ属性レコード102-1またはAVコンテンツ属性レコード102と称する。以下、動画像データファイル111-1-1-1乃至動画像データファイル111-2-2を個別に区別する必要がないとき、単にAVコンテンツ属性レコード102と称する。以下、動画像データファイル111-1-2-1若しくは動画像データファイル11112-1-2を個別に区別する必要がないとき、単に動画像データファイル112-1-1カ至静止画像データファイル112-1-1若しくは静止画像データファイル112-2-2-2

を個別に区別する必要がないとき、単に静止画像データ ファイル112と称する。

【0045】図7は、動画像データファイルのないAV コンテンツ101の例を説明する図である。例えば、A Vコンテンツ101-1に格納されていた動画像データ ファイル111-1-1万至111-1-3に対応する 画像および音声を所定のビデオテーブカセットに記録 し、その後、動画像データファイル111-1-1万至 111-1-3を削除したとき、AVコンテンツ101 1は、静止画像データファイル112-1-1乃至1 12-1-3から構成され、動画像データファイル11 1を含まない。

【0046】所定のビデオテープカセットに対応する動 画像データファイル111を含まないAVコンテンツ1 01を検索し、利用すれば、所定のビデオテーブカセッ トに記録されている画像および音声の内容を知ることが

【0047】図8は、AVコンテンツ編集プログラム8 3が、所定のAVコンテンツ101を編集したとき生成 される、AVコンテンツの例を説明する図である。AV 20 コンテンツ編集プログラム83が生成するAVコンテン ツ121-1は、例えば、参照しているAVコンテンツ aのID、AVコンテンツaの再生開始位置、およびA Vコンテンツaの再生終了位置、AVコンテンツbの I D、AVコンテンツbの再生開始位置、およびAVコン テンツbの再生終了位置、並びにAVコンテンツcのI D、AVコンテンツc再生開始位置、およびAVコンテ ンツcの再生終了位置などのデータを格納する編集デー タファイル131-1から構成されている。

【0048】同様に、AVコンテンツ編集プログラム8 30 3が生成するAVコンテンツ121-2は、例えば、参 照しているAVコンテンツpのID、AVコンテンツp の再生開始位置、およびAVコンテンツpの再生終了位 置、AVコンテンツaのID、AVコンテンツaの再生 開始位置、およびAVコンテンツaの再生終了位置、並 びにAVコンテンツェのID、AVコンテンツェ再生開 始位置、およびAVコンテンツrの再生終了位置などの データを格納する編集データファイル131-2から構

するAVコンテンツ121-1に対応するAVコンテン ツ属性レコード132-1は、AVコンテンツ121-1の属性である、名前、ID、作成日時、変更日時、録 画時間、状態、有効期限、誤削除防止の設定、エラーの 有り無し、およびメモなどのデータを格納している。A Vコンテンツ121-2に対応するAVコンテンツ属性 レコード132-2は、AVコンテンツ121-2の属 性である、名前、ID、作成日時、変更日時、録画時 間、状態、有効期限、誤削除防止の設定、エラーの有り 無し、およびメモなどのデータを格納している。

【0050】AVコンテンツ属性レコード132-1に 格納されている状態のデータは、AVコンテンツ131 - 1 が未再生、再生中、または再生済の、いずれかの状 態であることを示す。AVコンテンツ属性レコード13 2-2に格納されている状態のデータは、AVコンテン ツ131-2が未再生、再生中、または再生済の、いず れかの状態であることを示す。

【0051】AVコンテンツ121-1または121-2を利用すれば、小さな記憶領域だけで、画像および音 10 声の編集ができるようになる。以下、AVコンテンツ 1 21-1または121-2を個々に区別する必要がない とき、単にAVコンテンツ121と称する。以下、AV コンテンツ属性レコード132-1またはAVコンテン ツ属性レコード132-2を個別に区別する必要がない とき、単にAVコンテンツ属性レコード132と称す る。

【0052】次に、録画再生プログラム81が、パーソ

ナルコンピュータ 1 1 のCRT 3 0 に表示させる画面につ いて説明する。図9は、録画再生プログラム81が、録 画の操作が可能であるとき、パーソナルコンピュータ1 1のCRT30に表示される画面を説明する図である。 【0053】録画または再生される画像が表示される画 像表示ウィンドウ140上には、録画ウィンドウ141 と再生ウィンドウ146が表示されている。録画ウィン ドウ141には、録画されるチャンネル、録画モードな どが設定される。また、録画ウィンドウ141上には、 録画ボタン141aが表示されており、録画ウィンドウ 141がアクティブであるとき、マウスを操作し、クリ ックすると録画処理が開始される。また、録画ボタン1 41 aは、録画中ではない場合、例えば、図9に示すよ うに「TV」という録画しようとするコンテンツの入力 源を表示し、録画が開始されると、「REC」という表 示に変化する(図10)。また、再生ウィンドウ146 には、再生ボタン146aがあり、録画ボタン146と 同様に、再生ウィンドウ146がアクティブであると き、マウスを操作し、クリックすることによって、再生 処理が開始される。尚、録画処理と再生処理について後

【0054】録画を開始したとき、録画再生プログラム 【0049】AVコンテンツ編集プログラム83が生成 40 81は、録画ウィンドウ141の設定に基づき、画像処 理ボード34のチューナ54またはMPEGエンコーダ58 などの動作を設定し、所定のAVコンテンツ101およ びAVコンテンツ属性レコード102を生成し、HDO3 1に記録させる。録画ウィンドウ141が選択され、ア クティブであるとき、録画ボタン142および停止ボタ ン143は、アクティブとなり、操作が可能になる。す なわち、録画ウィンドウ141が選択され、アクティブ である場合、録画再生プログラム81は、録画ボタン1 46aまたは142がクリックされたとき、録画を開始 50 し、停止ボタン143がクリックされたとき、録画を停

述する。

止する。

【0055】一方、録画ウィンドウ141が選択され、アクティブであるとき、再生ボタン146aまたは144および一時停止ボタン145は、非アクティブとなり、録画再生プログラム81は、再生ボタン144または一時停止ボタン145がクリックされても、動作しない。

13

【0056】ユーザは、カーソル147を所望の動作を行わせるためのボタン上にマウス29により移動させ、その後クリックすることにより指示を出すことができる。

【0057】図10は、録画再生プログラム81が、録画を開始した場合、パーソナルコンピュータ11のCRT30に表示させる画面を説明する図である。録画ウィンドウ141は、録画されるチャンネルおよび録画モードに加えて、録画開始からの経過時間および現在時刻などを表示する。録画を開始すると、録画ボタン142は、録画時間変更ボタン151に変更される。録画時間は、録画時間変更ボタン151がクリックされるたびに、変更される。

【0058】図11は、録画時間変更ボタン151がクリックされることによる録画時間の変更を説明する図である。録画が開始されたとき、録画開始時間は、HDD31-1および31-2に記録可能なデータの大きさ(いわゆる、空き容量)、並びに録画モードにより決定される単位録画時間あたりの画像のデータの量などから算出される録画可能最大時間に設定される。例えば、HDD31-1の記録可能なデータの大きさが、3Gバイトであり、HDD31-2の記録可能なデータの大きさが、6Gバイトであり、標準の録画モードでの1秒間当たりの画のデータ量が5Mビットであるとすれば、以下の式から、録画可能最大時間が算出される。

(3Gバイト+6Gバイト)*(8ビット/バイト)/ (5Mビット/秒)=14400秒=4時間

【0059】録画開始から30分未満しか経過していない場合、図11(A)に示すように、録画時間に録画可能最大時間が設定されているとき、録画時間変更ボタン151がクリックされると、録画時間変更ボタン151がクリックされるたびに、録画時間は、1時間、1時間30分、2時間、2時間30分、3時間と、変更される。録画時間に3時間が設定されているとき、録画時間変更ボタン151がクリックされると、録画時間は、録画可能最大時間に戻る。

【0060】録画開始から30分以上、かつ1時間未満経過している場合、図11(B)に示すように、録画時間に録画可能最大時間が設定されているとき、録画時間変更ボタン151がクリックされると、録画時間な、1時間に設定される。ここから、録画時間変更ボタン151がクリックされるたびに、録画時間は、1時間30

分、2時間、2時間30分、3時間と、変更される。録 画時間に3時間が設定されているとき、録画時間変更ボ タン151がクリックされると、録画時間は、録画可能 最大時間に戻る。

14

【0061】録画開始から1時間30分以上、かつ2時間未満経過している場合、図11(C)に示すように、録画時間に録画可能最大時間が設定されているとき、録画時間変更ボタン151がクリックされると、録画時間は、2時間に設定される。ここから、録画時間変更ボタン151がクリックされるとがで、録画時間に3時間が設定されているとき、録画時間変更ボタン151がクリックされると、録画時間は、録画可能最大時間に戻る。【0062】このように、ユーザは、録画時間変更ボタン151をクリックするだけで、簡単に、かつ適切に、録画時間を変更することができる。

【0063】録画時間は、録画再生プログラム81の画面から所定のメニューコマンドを選択することにより表示される録画時間設定ウィンドウから設定することもで20 きる。図12および図13は、録画時間設定ウィンドウを示す図である。図12は、開始時刻からの録画時間をプルダウンメニューで選択するときの画面を示す図である。図13は、録画可能最大時間を選択するときの画面を示す図である。録画時間設定ウィンドウを利用すれば、ユーザは、迅速に、録画時間を設定できる。

【0064】次に、録画再生プログラム81により、所定のAVコンテンツ101またはAVコンテンツ121を再生するときの画面について説明する。図14は、録画再生プログラム81が、再生の操作が可能である場合、パーソナルコンピュータ11のCRT30に表示させる画面を説明する図である。

【0065】再生ウィンドウ146には、再生するAVコンテンツの録画モード等が表示される。再生ウィンドウ146が選択され、アクティブであるとき、停止ボタン143、再生ボタン144、146a、および一時停止ボタン145は、アクティブとなり、操作が可能になる。すなわち、再生ウィンドウ146が選択され、アクティブである場合、録画再生プログラム81は、再生ボタン144(または、146a)がクリックされたとも、再生を開始し、一時停止ボタン145がクリックされたとき、再生を一時停止し、停止ボタン143がクリックされたとき、再生を停止する。

【0066】一方、再生ウィンドウ146が選択され、アクティブであるとき、録画ボタン142は、非アクティブとなり、録画再生プログラム81は、録画ボタン142、141aがクリックされても、動作しない。

【0067】以上のように、録画ウィンドウ141または再生ウィンドウ146の選択に対応し、録画再生プログラム81が、録画ボタン142、停止ボタン143、

50 再生ボタン144、または一時停止ボタン145をアク

ティブまたは非アクティブのいずれかの状態に変更する ことで、ユーザは、操作できる内容を確実に知ることが できるので、迅速に操作ができるようになり、更に、誤 操作を防止することができる。

【0068】図15は、例えば、録画再生プログラム8 1が、AVコンテンツ101-1を再生し、静止画像データファイル112-1-1乃至112-1-3に記憶されている静止画像を表示させたとき、パーソナルコンピュータ11のCRT30に表示される画面を説明する図である。静止画像表示ウィンドウ171は、静止画像デ 10ータファイル112-1-1乃至112-1-3に記憶されている静止画像(シーンの変わり目の静止画像)を所定の大きさのサムネイル画像として表示する。静止画像表示ウィンドウ171の図中の横方向の位置は、再生する画像の時間軸に対応している。

【0069】現在位置指示ゲージ172が示す位置は、現在、すなわち、再生している画像の時点に対応する。図中の左側は、現在位置指示ゲージ172の位置からの距離に対応した所定の時間経過後、所定の過去の時点(既に画像を再生した)を示す。図中の右側は、現在位 20置指示ゲージ172の位置からの距離に対応した所定の時間の未来の時点(これから画像が再生される)を示す。

【0070】サムネイル画像は、そのシーンの変わり目(シーンチェンジ)の時点に対応する位置に配置され、静止画像表示ウィンドウ171に表示される。シーンチェンジが短時間で発生する場合、サムネイル画像は、重ね合わせて表示される。再生される画像の表示が進むにつれて(時間が経過するに従って)、サムネイル画像の表示位置は、図中の右側から左側に移動する。

1

【0071】サムネイル画像のドラックなどにより、再生されている画像と切り離して、静止画像表示ウィンドウ171に表示されるサムネイル画像のみをスクロールすることもできる。また、サムネイル画像は、スクロールバー173の操作によっても、スクロールされる。いずれの場合も、サムネイル画像同士の距離は、シーンの変わり目の時点の間の時間を常に反映し、変化しない。【0072】このように、ユーザは、静止画像表示ウィンドウ171に表示されるサムネイル画像により、所定の範囲のシーンの変わり目を迅速に知ることができ、所40

【0073】 ここで、静止画像表示ウィンドウ171のサムネイル画像の表示について説明する。上述したように、シーンチェンジが短時間で発生する場合、図16(A)に示すように、サムネイル画像が重ね合わされて表示される。図16(A)では、サムネイル画像A乃至Cが重なり合ってしまっているために、結果として、ユーザは、一番上に表示されているサムネイル画像Cしか参照できないことになる。

望するシーンをすぐに見ることができる。

【0074】逆に、シーンチェンジが発生しないため

に、図16(B)に示すように、静止画像表示ウィンドウ171に全くサムネイル画像が表示されない場合もあ

る。このように、全くサムネイル画像が表示されない場合、ユーザは、所望のシーンを探すための手がかりがな

16

い状態となってしまう。

【0075】とのようなことを防ぐために、サムネイル画像が重なることがないように、かつ、サムネイル画像が全く表示されないようなことがないようにするために、以下のような方法で、サムネイル画像の表示を制御する。まず、図17を参照して、静止画像表示ウィンドウ171について説明する。図17(A)に示したように、静止画像表示ウィンドウ171の右端から左端までの長さは、時間に換算して30秒間分を示している。また、サムネイル画像1枚の長さは、5秒間分を示す。従って、サムネイル画像を重なることがないように、静止画像表示ウィンドウ171に表示させた場合、図17(B)に示すように、サムネイル画像A乃至Fの6枚のサムネイル画像を表示することが可能である。

【0076】また、静止画像表示ウィンドウ171に最 他1枚のサムネイル画像の1部分でも、常に表示させるようにするには、約30秒に1枚のサムネイル画像が必要である。約30秒としたのは、実際に30秒毎にサムネイル画像が存在した場合、静止画像表示ウィンドウ171に1枚のサムネイル画像が表示されない場合がある。例えば、29秒毎にサムネイル画像が存在していれば、少なくとも、1秒間分だけのサムネイル画像が、常に静止画像表示ウィンドウ171に表示されていることになる。

【0077】しかしながら、1秒間分だけのサムネイル画像が表示されている状態では、ユーザにとって、参照できる画像とはいえない。従って、最低でも、完全なかたちで1枚のサムネイル画像が、常に静止画像表示ウィンドウ171に表示されるようにするためには、例えば、15秒毎にサムネイル画像が存在すればよい。15秒毎にサムネイル画像が存在すれば、図18に示したように、少なくとも1枚のサムネイル画像が常に静止画像表示ウィンドウ171に表示される状態となる。

【0078】上述したように、サムネイル画像を静止画像表示ウィンドウ171に表示することにより、ユーザが、その表示されたサムネイル画像を基に、所望のシーンを探し出すといった操作がしやすくなる。しかしながら、表示されているサムネイル画像は、そのサムネイル画像を含む番組のなかで、どのような位置に存在するのか、例えば、現在、画像表示ウィンドウ140に表示されている(再生されている)画像に対して、時間的に前の時刻に存在するサムネイル画像なのか、後の時刻に存在するサムネイル画像なのかといった情報がないために、ユーザは、表示されているサムネイル画像だけから所望のシーンを探し出さなくてはならない。

50 【0079】 このように、サムネイル画像からのみ、所

望のシーンを探し出すというのは、使い勝手が悪い場合 がある。そこで、サムネイル画像に対する時刻に関する 情報も提示するようにする。図19を参照し、時刻に関 する情報の提示の仕方について説明する。なお、図19 では、CRT30に表示される表示画面の一部(図15に 示した表示画面の内、下側の部分)のみを示す。

【0080】図19に示したように、ユーザがスクロー ルバー173上にカーソル147を移動させドラッグし た場合、または、サムネイル画像をクリック(ドラッ グ) した場合、静止画像表示ウィンドウ171の上側 に、位置時刻表示部181と差分時刻表示部182が表 示される。位置時刻表示部181は、静止画像表示ウィ ンドウ171に表示されているサムネイル画像が、その サムネイル画像を含む番組の開始時刻からの時刻を表示 する。例えば、仮に、番組を初めから視聴し、30分経 過後に表示される画面に対応するサムネイル画像がクリ ックされた場合、図20に示すように、位置時刻表示部 181には、"00時30分00秒"と表示される。

【0081】差分時刻表示部182は、画像表示ウィン ドウ140に表示(再生)されている画像に対する時刻 20 を表示する。例えば、画像表示ウィンドウ140に表示 されている画面に対して、クリックされたサムネイル画 像が、1分前の画面に相当する画像であった場合、図2 1(A)に示すように差分時刻表示部182には、"-00時01分00秒"と表示され(マイナスは前の時刻 ということを示す)、1分後の画面に相当する画像であ った場合、図21 (B) に示すように、"00時01分 00秒"と表示される。

【0082】上述した例では、位置時刻表示部181と 差分時刻表示部182には、クリックされたサムネイル 30 画像に対応する時刻が、それぞれ表示されるとしたが、 ユーザがスクロールバー173をドラッグして操作して いる場合は、静止画像表示ウィンドウ171の中央部分 に相当する時刻が表示される。例えば、図22に示すよ うに、スクロールバー173をドラッグすることによ り、現在位置指示ゲージ172が、静止画像指示ウィン ドウ171の中央部分に表示された場合、差分時刻表示 部182には、"00時00分00秒"と表示される。 【0083】とのように、位置時刻と差分時刻を提示す ることにより、ユーザは、それらの時刻を参照して、所 40 れた場合、ステップS7に進み、動画像データファイル 望のシーンを探し出すことができる。例えば、番組開始 後30分の所から視聴したい場合、位置時刻表示部18 1に表示される時刻が、"00時30分00秒"になる ように、スクロールバー173をドラッグすればよい。 また、現在視聴している所より、2分後の所から視聴し たいといったような場合、差分時刻表示部182に表示 される時刻が、"00時02分00秒"になるように、 スクロールバー173をドラッグすればよい。

【0084】とのように、ユーザは、簡便に、かつ、即 座に、所望のシーンを探し出すことが可能となる。

18

【0085】次に、録画再生プログラム81がRAM23 にロードされ、CPU2 1が録画再生プログラム8 1を実 行する場合の、録画の処理について、図23のフローチ ャートを参照して説明する。ステップS1において、録 画再生プログラム81は、コンテンツデータベース92 に所定のA V コンテンツが録画中であることを示す属性 を登録する。ステップS2において、録画再生プログラ ム81の指示に基づきハードウェアインターフェース9 1は、MPECエンコーダ58に録画する画像を、高画質、 10 または標準などの所定の録画モードで圧縮させる。

【0086】ステップS3において、録画再生プログラ ム81に基づきハードウェアインターフェース91は、 MPEGエンコーダ58の出力を基に、録画している画像の シーンが切り換えられたか否かを判定し、録画している 画像のシーンが切り換えられたと判定された場合、ステ ップS4に進み、MPEGエンコーダ58に、画像(動画 像) に対応する静止画像を生成させる。

【0087】ステップS3において、録画している画像 のシーンが切り換えらていないと判定された場合、ステ ップS5において、前回、静止画像(サムネイル画像) が生成されてから所定の時間が経過したか否かが判定さ れる。この処理は、上述したように、静止画像表示ウィ ンドウ171に1枚以上のサムネイル画像を表示させる ようにするためには、例えば、15秒毎に静止画像を生 成する必要があるからである。従って、所定の時間を1 5秒と設定した場合、ステップS5の処理は、前回、静 止画像を生成してから15秒経過したか否かが判断され る。ステップS5において、所定時間が経過したと判断 された場合、ステップS4に進み、静止画像が生成され

【0088】一方、ステップS5において、所定時間が 経過していないと判断された場合、静止画像を生成する 必要がないので、ステップS4は、スキップされ、手続 きは、ステップS6に進む。

【0089】ステップS6において、録画再生プログラ ム81の指示に基づきファイル1/093は、圧縮して いる画像を記録している動画像データファイル111が 所定の大きさ以上になったか否かを判定し、動画像デー タファイル 1 1 1 が所定の大きさ以上になったと判定さ 111が記録されているHDD31の空き容量がなくなっ たか否かを判定する。

【0090】ステップS7において、動画像データファ イル111が記録されているHDO31の空き容量がなく なったと判定された場合、ステップS8に進み、録画再 生プログラム81は、他のHDD31を選択する。

【0091】ステップS7において、動画像データファ イル111が記録されているHDD31の空き容量がある と判定された場合、HDD3 1 に更に他の動画像データフ 50 ァイル111を記録できるので、ステップS8は、スキ ップされ、手続きは、ステップS9に進む。

【0092】ステップS9において、録画再生プログラ ム81の指示に基づきファイルI/O93は、所定のHD 031に、新たな動画像データファイル111および新 たな静止画像データファイル112を生成し、圧縮され た画像を新たな動画像データファイル111に記録さ せ、生成された静止画像を新たな静止画像データファイ ル112に記録させるように設定し、ステップS10に 准する。

【0093】ステップS6において、動画像データファ イル111が所定の大きさ以上になっていないと判定さ れた場合、継続してその動画像データファイル111に 圧縮された画像を記録できるので、手続きは、ステップ S10に進む。

【0094】ステップS10において、録画再生プログ ラム81の指示に基づきファイル1/093は、MPEGエ ンコーダ58で圧縮された画像を、所定のHDD31上の 動画像データファイル111に記録する。ステップS1 1において、録画再生プログラム81は、MPEGエンコー ダ58で生成された静止画像をシーンの再生時刻などの 20 所定のデータとともに、所定のHDO3 1上の静止画像デ ータファイル112に記録する。

【0095】ステップS12において、録画再生プログ ラム81は、録画時間の設定またはマウス29からの入 力などを基に、録画を終了するか否かを判定し、録画を 終了しないと判定された場合、ステップS62に戻り、 録画の処理を継続する。

【0096】ステップS12において、録画を終了する と判定された場合、ステップS13に進み、録画再生プ ログラム81は、コンテンツデータベース92に所定の 30 AVコンテンツ101の録画が終了したことを示す属性 を登録し、処理は終了する。

【0097】次に、録画再生プログラム81、ハードウ ェアインターフェース91、およびファイル1/093 がRAM23にロードされ、CPU21が録画再生プログラム 81、ハードウェアインターフェース91、およびファ イル1/093を実行する場合の、静止画像の表示の処 理を、図24のフローチャートを参照して説明する。な お、図24のフローチャートの処理は、再生している画 像と静止画像表示ウィンドウ171上のサムネイル画像 40 像(画像表示ウィンドウ140に表示されている画像) の位置とが対応する同期モード、または、再生している 画像と静止画像表示ウィンドウ171上のサムネイル画 像の位置とが対応していない非同期モードに関係なく行 われる処理である。

【0098】ステップS21において、同期モードの時 は、再生されている画像の時刻に対応した静止画像のデ ータが、非同期モードの時は、ドラッグされているサム ネイル画像(スクロールバー173)の位置および時刻 に対応する静止画像のデータが静止画像データファイル 112から読み出される。ステップS22において読み 50 位置時刻表示部181と差分時刻表示部182に表示さ

出された静止画像のデータによって表示されるサムネイ ル画像の表示位置が算出され、算出された表示位置に、 サムネイル画像が表示される。

20

【0099】ステップS23において、ステップS22 において表示したサムネイル画像の時刻から、後の時刻 における、5秒以内に、サムネイル画像があるか否かが 判定される。ステップS23において、5秒以内にサム ネイル画像があると判定された場合、ステップS24に 進む。ステップS24において、5秒以内にあるサムネ イル画像(最大4枚)の次の画像(6秒目以降にある画 像) に対応する静止画像のデータが読み出される。デー タが読み出されると、ステップS22に戻り、それ以降 の処理が繰り返される。

【0100】ステップS23において、5秒以内にサム ネイル画像はないと判定された場合、換言すれば、次の サムネイル画像は、6秒以上後にあると判定された場 合、ステップS25に進み、次のサムネイル画像の静止 画像のデータが読み出される。データの読み出しが終了 されると、ステップS22に戻り、それ以降の処理が繰 り返される。

【0101】このようにして、サムネイル画像の表示が 制御されることにより、上述したように、サムネイル画 像同士が重なり合うことなく、また、全くサムネイル画 像が表示されない区間が存在することなく、サムネイル 画像が静止画像表示ウィンドウ171に表示される。 【0102】次に、図25のフローチャートを参照し て、位置時刻表示部181と差分時刻表示部182に表

示される時刻の表示の処理について説明する。ステップ S31において、静止画像表示ウィンドウ171に表示 されているサムネイル画像、または、スクロールバー1 73がドラッグされたと判定されると、ステップS32 に進む。

【0103】ステップS32において、ドラッグされた 変化量に応じて、位置時刻表示部181に表示される時 刻、および、差分時刻表示部182に表示される時刻 が、それぞれ算出される。上述したように、位置時刻表 示部181に表示される時刻は、番組の開始時刻から、 どれだけの時間が経過したかを示す時刻であり、差分時 刻表示部182に表示される時刻は、再生されている画 に対する相対的な時刻である。そのような時刻の算出が 終了されると、ステップS33において、算出された時 刻が、位置時刻表示部181と差分時刻表示部182 に、それぞれ表示される。

【0104】ステップS34において、ドラッグは終了 されたか否かが判定され、終了されていないと判定され た場合、ステップS32に戻り、それ以降の処理が繰り 返される。一方、ステップS34において、ドラッグは 終了されたと判定された場合、ステップS35に進み、

れていた時刻は消去される。

【0105】このようにして、ユーザに対して時刻に関 する情報を提示するようにすることで、ユーザは、所望 のシーンを簡便に、かつ、索早く探し出すことが可能と なる。

【0106】なお、上述した説明においては、位置時刻 と差分時刻を表示するようにしたが、どちらか一方だけ 表示するようにしても良い。また、実際に番組が録画さ れた日時を表示するようにしても良い。

【0107】上述した一連の処理は、ハードウェアによ 10 り実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行 させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより 実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプロ グラムが、専用のハードウェアに組み込まれているコン ビュータ、または、各種のプログラムをインストールす ることで、各種の機能を実行させることが可能な、例え ば汎用のパーソナルコンピュータなどにプログラム格納 媒体からインストールされる。

【0108】 このプログラム格納媒体は、図2に示すよ うにパーソナルコンピュータ11に予め組み込まれた状 20 る。 態でユーザに提供される、プログラムが記録されている ハードディスクドライブ31-2,31-2だけではな く、コンピュータとは別に、ユーザにプログラムを提供 するために配布される、プログラムが記録されている磁 気ディスク111(フロッピーディスクを含む)、光デ ィスク112 (CD-ROM(Compact Disk-Read Only Memor y), DMD (Digital Versatile Disk) を含む)、光磁気 ディスク113 (MD (Mini-Disk) を含む)、もしくは 半導体メモリ114などよりなるパッケージメディアに より構成される。

【0109】尚、本明細書において、プログラム格納媒 体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載 された順序に沿って時系列的に行われる処理は、もちろ ん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的ある いは個別に実行される処理を含むものである。

[0110]

【発明の効果】以上の如く請求項1に記載の情報処理装 置、請求項3に記載の情報処理方法、および請求項4に 記載のプログラム格納媒体によれば、動画像と、その動 画像のシーンの切り換えに対応する静止画像とを記録 し、動画像と静止画像との関係を示す時刻を表示するよ うにしたので、ユーザが時刻を参照して、所望の静止画 像、動画像を探すことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る画像記録再生システムの一実施の 形態を示す図である。

【図2】パーソナルコンピュータ11の構成を説明する ブロック図である。

【図3】画像処理ボード34の構成を示す図である。

【図4】パーソナルコンピュータ11が実行するアプリ 50 コード, 111 動画像データファイル, 112

ケーションプログラムを説明する図である。

【図5】パーソナルコンピュータ11が実行するアプリ ケーションプログラム、ミドルウェア、およびドライバ 類の構成を説明する図である。

22

【図6】AVコンテンツの構成の例を説明する図であ

【図7】AVコンテンツの構成の例を説明する図であ

【図8】AVコンテンツの構成の例を説明する図であ

【図9】録画再生プログラム81の画面を説明する図で

【図10】録画再生プログラム81の画面を説明する図 である。

【図11】録画時間変更ボタン151がクリックされる ことによる録画時間の変更を説明する図である。

【図12】録画時間設定ウィンドウを説明する図であ

【図13】録画時間設定ウィンドウを説明する図であ

【図14】録画再生プログラム81の画面を説明する図

【図15】録画再生プログラム81の画面を説明する図 である。

【図16】静止画像表示ウィンドウ171に表示される サムネイル画像について説明する図である。

【図17】静止画像表示ウィンドウ171に表示される。 サムネイル画像について説明する図である。

【図18】静止画像表示ウィンドウ171に表示される 30 サムネイル画像について説明する図である。

【図19】時刻表示について説明する図である。

【図20】時刻表示について説明する図である。

【図21】時刻表示について説明する図である。

【図22】時刻表示について説明する図である。

【図23】録画処理について説明するフローチャートで ある。

【図24】サムネイル画像の表示処理について説明する フローチャートである。

【図25】時刻表示処理について説明するフローチャー 40 トである。

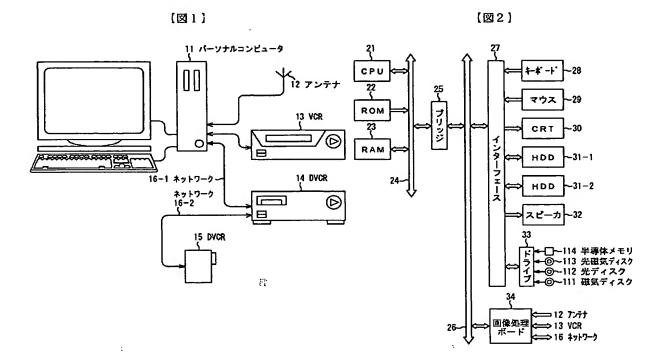
【符号の説明】

11 パーソナルコンピュータ, 13 VCR, DVCR, 15 DVCR, 16, 16-1, 16-1ネットワーク, 21 CPU, 23 RAM, 34 画像 処理ボード、 58 MPECエンコーダ、 60 MPEGデ コーダ、 81 録画再生プログラム、 82 AVコ ンテンツ管理検索プログラム, 83AVコンテンツ編 集プログラム、 92 コンテンツデータベース、 1 01AVコンテンツ、 102 AVコンテンツ属性レ

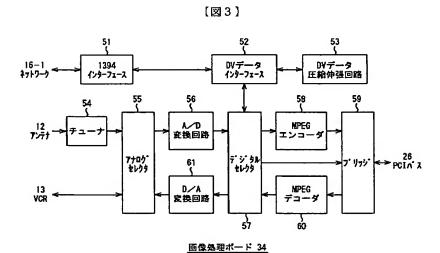
23

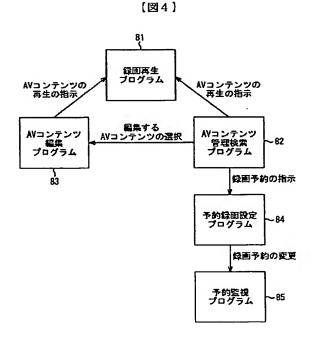
131 編集データファイル、 132 AVコンテ ンツ属性レコード、141 録画ウィンドウ、 141 a 録画ボタン, 142 録画ボタン, 143 停止ボ タン, 144 再生ボタン, 145 一時停止ボタ*

静止画像データファイル、 121 AVコンテンツ、 *ン、 146 再生ウィンドウ 、 146a 再生ボ タン、 147 カーソル、 171 静止画像表示ウ ィンドウ, 172 現在位置指示ゲージ, 173 スクロールバー, 181 位置時刻表示部, 182 差分時刻表示部

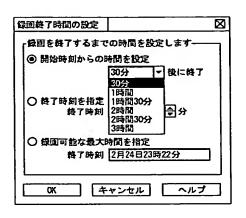


パーソナルコンピュータ 11

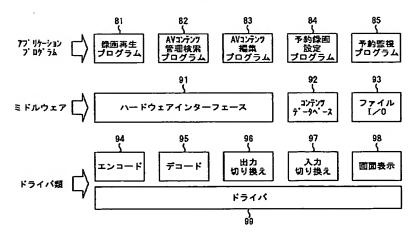




【図12】



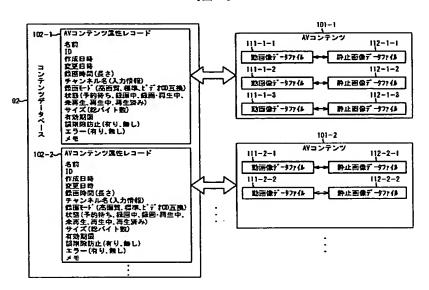
【図5】



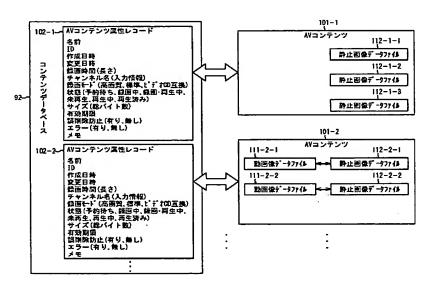
【図18】



(図6)

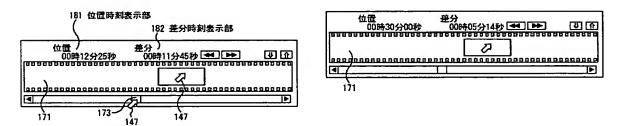


【図7】



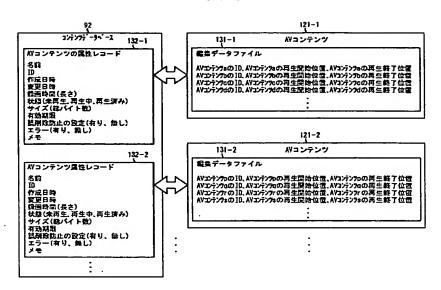
【図19】

[図20]

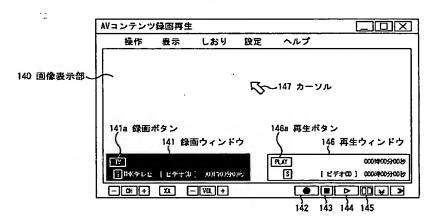


- -:

【図8】



[図9]

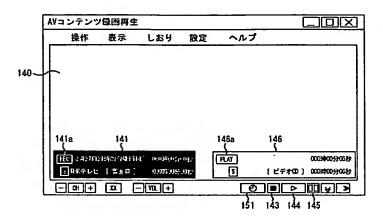


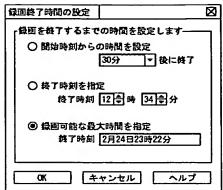
【図11】

- (A)
 → 録画可能 → 30分 → 1時間 → 1時間30分 → 2時間 → 2時間30分 → 3時間 → 3時間 → 3時間 → 2時間 → 2時間 → 2時間 → 3時間 →
- (C) 续酉可能 → 2時間 → 2時間30分 → 3時間 ¬

【図10】

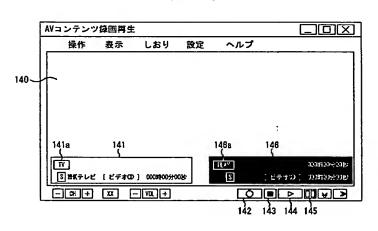
【図13】

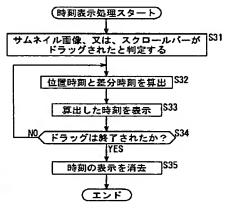




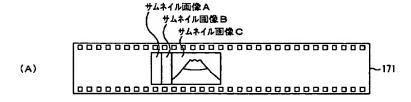
【図14】

【図25】



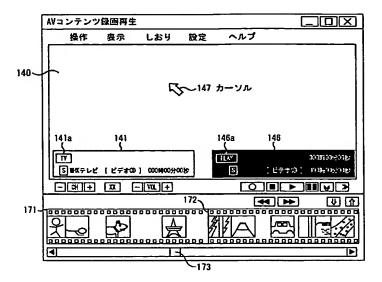


[図16]

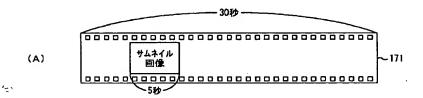




(図15)

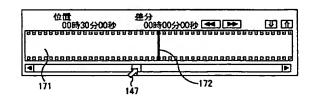


【図17】

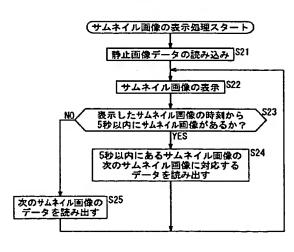




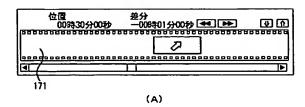
【図22】

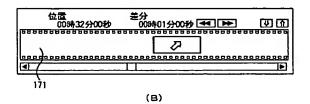


【図24】

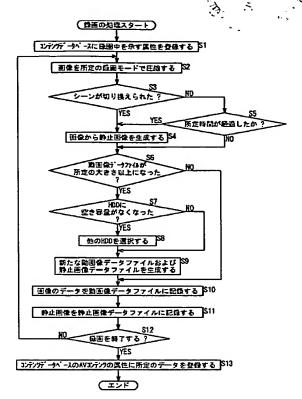


[図21]





【図23】



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ other:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.